

2020年5月21日

各位

オリックス株式会社
(コード番号：8591)

2020年3月期の剰余金配当および2021年3月期の配当予想（中間配当）について

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）は、本日開催の取締役会において、下記のとおり2020年3月31日を基準日とする剰余金の配当予定額を決議しましたのでお知らせします。

また、2021年3月期の配当予想（中間配当）について、下記の通りとしますので、あわせてお知らせします。

記

1. 配当の内容（2020年3月期）

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (2019年3月期)
基準日	2020年3月31日	2020年3月31日	2019年3月31日
1株当たり配当金 (年間配当額)	41円00銭 (76円00銭)	41円00銭 (76円00銭)	46円00銭 (76円00銭)
配当金の総額 (年間合計額)	51,493百万円 (96,356百万円)	—	58,962百万円 (97,415百万円)
効力発生日	2020年6月18日	—	2019年6月3日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 利益配分に関する基本方針

当社は、事業活動で得られた利益を主に内部留保として確保し、事業基盤の強化や成長のための投資に活用することにより株主価値の増大に努めてまいります。同時に、業績を反映した安定的かつ継続的な配当を実施します。また、自己株式取得については、必要な内部留保の水準を考慮しつつ、経営環境の変化、株価の動向、財務状況および目標とする経営指標などを勘案のうえ、弾力的・機動的に対処してまいります。

これらの基本方針のもと、当期の1株当たりの年間配当金については、前期の76.00円と同額の76.00円（中間配当金は支払済みの35.00円、期末配当金は41.00円）とします。配当性向は前期比+2%の32.0%となります。

3. 2021年3月期配当予想（中間配当）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う世界経済の減速懸念から、2021年3月期の連結業績見通しは未定ですが、安定的かつ継続的な配当を実施すべく、2021年3月期の中間配当予想は、前年同期と同額の1株あたり35.00円とします。また、通期の配当性向は2021年3月期に限り50%とします。なお、2021年3月期の年間配当予想については未定です。

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
配当予想	35円00銭	—	—

以上

<株主・投資家からのお問い合わせ先>
経営計画部 IR チーム TEL：03-3435-3121

<報道関係者からのお問い合わせ先>
グループ広報・渉外部 広報チーム TEL：03-3435-3167